



紀伊山地の霊場と参詣道



高野・山麓いと楽し
(当協議会HP)

高野山麓

空海

御誕生一二五〇年記念

伝承地図

KUKAI ~Legend and Anecdotes~

和歌山県 / 橋本・伊都広域観光協議会

(橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町、伊都振興局)

高野山麓の

世界遺産登録社寺と参詣道



い そうほんざんこんごうふじ
総本山金剛峯寺

平安時代の初めに空海によって開かれた真言密教の聖地です。特に「奥之院」と「壇上伽藍」は2大聖地として信仰を集めています。

伊都郡高野町高野山 132
0736-56-2011
<https://www.koyasan.or.jp/>



ろ にうつひめじんじゃ
丹生都比売神社

1700年以上前に創建された神社。紀伊国一之宮。空海はこの神社から、神領地の一部であった高野山を授け開創しました。

伊都郡かつらぎ町上天野 230
0736-26-0102
<https://niutsuhime.or.jp/>



は こんごうさんまいいん
金剛三昧院

北条政子が夫源頼朝の菩提を弔うために建立した宿坊寺院。国宝多宝塔をはじめ、多くの重要文化財を有する古刹です。

伊都郡高野町高野山 425
0736-56-3838
<https://www.kongosanmaiin.or.jp/>



に じそんいん
慈尊院

高野山が女人禁制だった当時、空海の母公はこの院で生涯を過ごしました。「女人高野」と呼ばれ「乳房型絵馬」が大変珍しいお寺です。

伊都郡九度山町慈尊院 832
0736-54-2214 <http://jison-in.org/>



ほ にうかんしょうふじんじゃ
丹生官省符神社

空海が慈尊院とともに創建。町石道の起点に鎮座し、導きの神様として尊崇されています。

伊都郡九度山町慈尊院 835
0736-54-2754
<http://niujinja.sakura.ne.jp/>



へ にうさかどのじんじゃ
丹生酒殿神社

丹生都比売大神が降臨した際、酒を造り供えたことに由来すると言われていいます。晩秋には黄金色に輝く大イチョウが見られます。

伊都郡かつらぎ町三谷 631 (神社)
0736-22-0300 (かつらぎ町観光協会)



と ちょういしみち
町石道

空海が切り開いた修行の道であり、高野参詣の表参道。皇族、貴族、武士、庶民あらゆる人がこの道を歩きました。慈尊院(九度山町)から壇上伽藍根本大塔、奥之院の弘法大師御廟(高野町)へ至ります。



ち くらこみち
黒河道

山麓の宿場町橋本から高野山への近道とされ、地元の人々が産物を納めるために使われていました。清水(橋本市)から久保(九度山町)を経由し、粉撞峠(つづきとうげ)を越えて高野山に至ります。



り きょうおおさかみち
京大坂道

京都・大阪方面から紀伊峠を越えて高野山へ至る参詣道。学文路(橋本市)河根(九度山町)神谷(高野町)を経由し、不動坂(世界遺産)を上り不動坂口女人堂に至ります。江戸時代にはこの道が最も利用されました。



ぬ みたにざか
三谷坂

丹生都比売神社の鎮まる天野は、古くは人の住むことが許されず、神職も丹生酒殿神社のある三谷に住み、この道を通っていたと伝わります。高野への参詣道となり、沿道には笠石、類切地藏などの仏教関連の石造物が残っています。



る におんみち
女人道

明治5年(1872)まで女人禁制だった高野山において、女性たちが高野山の外周を巡り、7つの入口に設けられた女人堂をたどった道です。不動坂口女人堂だけが唯一現存しています。

ルートの詳細は「高野参詣道トレッキングガイド」をご覧ください。
掲載画像は「高野山麓いと楽しフォトコンテスト」出品作品です。
社寺・世界遺産を歩く・高野山麓いと楽しフォトコンテストの詳細は
下記QRコードをご覧ください。



社寺



世界遺産を歩く



高野山麓いと楽し
フォトコンテスト

※橋本・伊都広域観光協議会では、高野山とその麓の地域を一体として「高野山麓」と呼んでいます。

高野山

標高約一〇〇〇m級の峰々に囲まれた山上盆地に広がる高野山は、一二〇〇年前に弘法大師空海が開創した真言密教の聖地です。高野山全域を総本山金剛峯寺といい、「一山境内地（いっさんけいだいち）」とされています。宿坊によっては、「写経」や「阿字観（あじかん）」の他、朝から読経や礼拝のお勤めをする「朝勤行（あさごんぎょう）体験」や、護摩木を焚いて祈願する「護摩祈禱」などの修行体験ができたり、精進料理をいただく事ができます。



壇上伽藍

掲載画像は「高野山麓いと楽しフォトコンテスト」出品作品です。

弘法大師空海

空海は、宝亀五（七七四）年、讃岐国多度郡（さぬきのくにたどのこおり）（香川県善通寺市）生まれ。俗名は佐伯眞魚（さへきのまお）。延暦三（八〇四）年、中国（唐）に留学して、真言密教の最高権威（第七祖）恵果阿闍梨（けいかあじやり）に出合い、その正式な継承者となり、大同元（八〇六）年、帰国しました。平安時代初期の日本が生んだ最高の哲学者にして、美しい文章を流麗な筆致で綴る超一流の文学者。人々のために泉を掘り当て、池を修築する社会事業家。そして何よりも生きとしけるものの幸せをひたすら祈る宗教者でした。弘仁七（八一六）年、高野山に「修禪の二院」金剛峯寺を創建。承和二（八三五）年、同山にて入定（にゅうじょう）。入定から八六年後の延喜二（九二二）年、醍醐天皇から「弘法大師」の諡号（しごう）を賜りました。

高野山麓に伝わる空海ゆかりの物語

伝承一 空海が唐から投げた法具が高野山へ

壇上伽藍

空海が唐より帰国される折、真言密教を広めるにふさわしい場所を求めるため、日本へ向けて三鈷杵（さんこしよ）と呼ばれる法具を投げました。

後に空海が高野近辺を訪れたところ、一本の松にその三鈷杵が引っかかっているのを発見し、空海はこの地こそ真言密教にふさわしい土地であると悟られたそうです。

このことから、その松は「三鈷の松」と呼ばれています。

にれ

伝承三 空海の母公が醸した酒と九度山

慈尊院は、空海が高野山開創に際し政所として伽藍を創建したのが縁起。

「我が子が開いている山を一目見たい」と母公が普通寺より訪ねてこられました。当時の高野山は女人禁制であり、この院で暮らしました。

母公は、空海のために穀物の粃を一粒一粒自ら爪で剥いて醴酒を醸し、空海はこれお酒を爪剥酒（つまむきのさけ）と号したと言われています。

伝承五 高野山案内犬ゴン

に



昭和六〇年代、慈尊院近くに住みついていた白い雄の野良犬は、誰が教えたわけでもなく高野山への道案内をするようになりました。

この犬は鐘の音を好んでいたため「ゴン」と呼ばれ、町石道約二〇kmの道のりを行き来する毎日を送りました。

境内に「高野山案内犬ゴンの碑」が建てられました。



之院奥

伝承七 空海は今も奥之院で人々を見守っている

空海が御入定してから八六年後、醍醐天皇は「弘法大師」の諡号を贈られました。

その報告のため高野山へ登られた観賢（かんげん）僧正は、

奥之院の御廟で醍醐天皇が夢に見た通りの空海に出会われました。

この伝説から、空海は今も奥之院に生き続け

世の中の平和と人々の幸福を願っているという入定信仰が生まれました。

伝承二 空海を高野山に導いた2匹の犬

いろほ

空海が根本道場を開くために各地を巡錫（じゅんしゃく）していたある日、

黒白二匹の犬をつれた狩人に出会いました。

狩人は「あなたの求めているよい場所があります。

この犬に案内させましょう」と言いました。

途中、山の王である丹生明神（丹生都比売大神）が姿を現され、

「この地（高野山）をあなたに授けよう」と告げられました。

狩人の正体は、丹生都比売神社に祀られる狩場明神（高野御子大神）の化身であったとされます。空海が高野山開創の折、

高野山大伽藍にまずこの二神の御社を建立して以来、今も大切に祀られています。

伝承四 空海も辿った高野山への参詣道

と



高野山町石道は、空海が高野山を開創した際、木製の卒塔婆を建てて道標とした表参道です。

後に木製に代わって石造の五輪卒塔婆が建立されました。

町石は単なる道標ではなく、参拝者は卒塔婆型町石に礼拝をしながら高野山を目指していた事が分かります。壇上伽藍から慈尊院まで一町（約一〇九m）ごとに一八〇基、壇上伽藍から奥之院御廟までに三六基の町石が建てられています。

伝承六 豊臣秀吉が高野山から馬で駆け降りた道

ち

文禄三（一五九四）年、秀吉が高野山に登山したとき、

歌舞音曲禁止という高野山開創以来の戒めを破って能楽を催したところ、

一天にわかに掻き曇り、豪雨と共に雷鳴が轟きました。

恐れおののいた秀吉は仏の崇りと思い、単騎、一目散に黒河道を駆けおり、麓の利生護国寺（橋本市）にやっと辿り着いたと言われています。



奥之院参道

画像出典：総本山金剛峯寺

伝承ゆかりの

高野山麓の品々



を 精進料理

精進料理とは、肉や魚などの「なまぐさ」を使わない料理です。高野山の精進料理のルーツは「振舞料理」で見た目にも豪華です。

(一社) 高野山宿坊協会 (有) 高野山参詣講
伊都郡高野町高野山 600 0736-56-2616
<https://www.shukubo.net/>



よ 高野山麓精進野菜

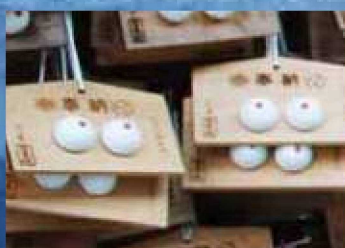
かつて、山麓の集落でとれた旬の農産物を高野山に納める習慣を再現し「高野山麓農産物産地化協議会」が野菜のブランド化を進めています。

高野山麓農産物産地化協議会事務局
橋本市東家 1-1-1
0736-33-6113

わ 乳房型絵馬

子宝・安産・育児・授乳・病氣平癒を願い、乳房型絵馬のご奉納祈願を行います。

慈尊院
伊都郡九度山町慈尊院 832
0736-54-2214
<http://jison-in.org/>



か みちびきの犬みくじ

神社に祀る高野御子大神のお使いの黒犬と白犬がモチーフです。なお、この二頭が空海を高野山に導いたとされています。

【伝承二】
丹生都比売神社
伊都郡かつらぎ町上天野 230
0736-26-0102
<https://niutsuhime.or.jp/>



た 佛手柑 (ぶっしゅかん)

インド原産の果実で、その形が佛の手に似ていることから、佛手柑と呼ばれています。独自の製法で甘露漬けにしています。

かさ國
伊都郡高野町高野山 764
0736-56-2327
<http://www.mirokuishi.com/>



れ 爪剥酒

空海の母公が、空海のために穀物の粒を一粒一粒自ら爪で剥いて醴酒を醸したと言われています。

【伝承三】
初光酒造 (株)
紀の川市貴志川町丸柄 87 0736-64-3320
<http://www.yorokobi.jp/>



地域の語り部さんの案内でもっと楽しくトレッキングしませんか？

橋本観光ガイドの会

問い合わせ 北本 090-7115-7732

高野山町石道語り部の会

問い合わせ 九度山町産業振興課
0736-54-2019

高野七口再生保存会

問い合わせ 児玉 070-2614-9671



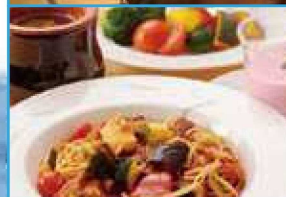
高野山麓の宿泊施設



一般社団法人高野山宿坊協会 高野山でのお泊りにはぜひ宿坊をご利用ください。

宿坊選びも楽しみのひとつで、庭園などそれぞれに特徴があり、宿坊自慢の精進料理を召し上がりながら、心安らぐ霊場での一夜をお過ごしください。

伊都郡高野町高野山600 0736-56-2616 <https://www.shukubo.net/>



天然温泉「ゆの里」・お水の宿「このの」 不思議な力を持つ三種の銘泉が有名。

銘泉を使った料理や化粧品が好評です。料理には自家製の無農薬野菜と、ゆの里ご自慢の水「月のしずく」を使用。ここでしか食べられないものとなっております。

橋本市神野々898 [ゆ] 0736-33-1126 [こ] 0736-32-7747 <https://www.spa-yunosato.com/>



山荘「天の里」 約6000坪の広い敷地に、1日8組だけのお客様。

木の温もりある、4棟全8室のラグジュアリールームの客室で、日々の喧噪から離れて静かにゆったりと非日常の時間をお楽しみください。

伊都郡かつらぎ町下天野1620 0736-26-0753 <https://amanosato.com/>



交通アクセス



- ◆大阪方面から ◎▶なんば駅から橋本駅まで (約50分)
- ◆京都方面から ◎▶京都駅から新今宮駅まで (約60分) ▶新今宮駅から橋本駅まで (約50分)
- ◆奈良方面から ◎▶奈良駅から王子駅まで (約15分) ▶王子駅から橋本まで (約70分)
- ◎▶奈良駅から新今宮駅まで (約40分) ▶新今宮駅から橋本駅まで (約50分)



- ◆大阪・京都方面から
- ◎▶阪和自動車道・美原JCTから南阪奈道路・新庄ICまで (約15分) ▶新庄ICから国道165号 (大和高田バイパス) で橿原まで (約10分) ▶京奈和自動車道・橿原高田ICから橋本ICまで (約30分)
- ◎▶阪和自動車道・美原JCTから岸和田和泉ICまで (約15分) ▶岸和田和泉ICから国道170号・480号でかつらぎ町まで (約30分)
- ◆四国方面から
- ◎▶南海フェリー・徳島港から和歌山港まで (約2時間20分) ▶和歌山港から阪和自動車道・和歌山ICまで (約25分) ▶和歌山ICから京奈和自動車道・橋本ICまで (約40分)
- ◎▶神戸淡路鳴門自動車道・鳴門ICから阪神高速を経由し阪和自動車道・和歌山JCTまで (約2時間50分) ▶和歌山JCTから京奈和自動車道・橋本ICまで (約35分)
- ◆奈良方面から ◎▶京奈和自動車道・橿原高田ICから橋本ICまで (約30分)



丹生都比売神社への参拝はかつらぎ町コミュニティバス (天野コース: 通年) をご利用ください。◆JR 笠田駅 ⇄ 丹生都比売神社



各ホームページは
こちらのQRコードから



空海Navi
(善通寺市
観光協会HP)



(一社) 四国
八十八ヶ所
霊場会HP

発行: 2023年2月
和歌山県 / 橋本・伊都広域観光協議会
電話: 0736-33-4909
FAX: 0736-33-4931